

キャラクター名 シヤムス・アニーブレル	プレイヤー名
------------------------	--------

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	8
サポートクラス	バーサーカー	Lv.1:	ウォーリア	性別	男性
称号クラス				年齢	24
種族	グライアイ			境遇	裏切り
出自 (効果)	脱走者			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	22	21	9	8	15	9	4
ボーナス	7	7	3	2	5	3	1
クラス修正	2	2	1	0	1	0	0
他修正							
能力値	9	9	4	2	6	3	1

HP	97
MP	57
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	バルディッシュ(S1)	至近	-2	15	0	0	0	-2	0
左手									
頭部	刃の兜				-1	7			-1
胴部	アーキバースアーマー				-1	11			-2
補助	トリックマント					5			
装身具	豪傑の証								
能力値			9	0	4	0	3	10	14
スキル						2	1		
その他	戦士の輪 刃兜 豪傑		1	4		6			
総計(右)			8	19					
総計(左)					2	31	4	8	11
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 2 d
トラップ解除	9			9	+ 2 d
危険感知	6	1		7	+ 3 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	値引き合計額
ベルトポーチ&バックパック	ルフェルより借用
HPP*3	
MPP*9	
ポーションホルダー	
毒消し	
護衛 (バルカの義手)	
香水	
戦士の輪	
上等な香水	
ランジュ教育セット	

現在重量:	19	所持金:	370	預金・借金:	
最大重量:	29				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
	★							
効果:								
バッシュ	4	4	M	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
ブランディッシュ	1	3	M		SL*2	命中		
効果:	エンゲージ内の対象に攻撃を行う							
セイブアタック	1	4	M	武器	単体	命中		
効果:	攻撃が命中した場合、対象にエンゲージしている自分以外のキャラクターを離脱させる。封鎖の影響は受けない							
	1							
効果:								
バーサーク	5	3	m		自身			
効果:	ダメージ増加[SL*3]。マイナーで解除かシーン終了まで。							
スマッシュ	1	5	m		自身			
効果:	ダメージ+【筋力】							
	1							
効果:								
カバーリング	1	2	d r 直前	至近	単体		防御一回	
効果:	対象をカバーする。行動済みにならない							
カバームーブ	3	4	カバー		自身		s2	
効果:	カバーリングの射程を20mに変更する							
ウェポンガード	1	4	dr直後		自身			
効果:	物理ダメージを武器攻撃力÷2点軽減する							
	1							
効果:								
ボルテクスアタック	1		効果					
効果:	武器攻撃と同時に使用。ダメージ+CL*10							
ブルータルストライク	1		効果				s1	
効果:	狂戦士化中のみ。白兵攻撃と同時に宣言。攻撃を貫通化する							

他人の幸福と、自分の罰を祈る青年。  
 幼少時に両親が妖魔社会から離脱。迫害を恐れ人間社会に居場所を求めた。  
 しかし、妖魔であった自分達を受け入れてくれる場所は見つからず、追っ手との戦いの中で両親が落命。  
 途方にくれていた所をある聖職者に拾われ、暗部の仕事についた。  
 内容は、妖魔が転生した人間を葬る事。彼は職務に忠実に、それらを神の御許に送り返していった。  
 不幸はなかった。いずれ、神の愛が自分を救ってくれると聞いていたから。  
 ただ、疑問はあった。神の御名の元に弱者を虐げるのは、本当に正しい事なのか。  
 その疑問は、聖職者が教会を追われたことによつて応えられた。  
 被害者に貼られていた【妖魔の転生者】というレッテルは、確証のない疑念であったこと。行き過ぎた信仰心が起こした暴走であったこと。  
 罪悪感に耐えられず街を出た。神の愛は自分を救わなかったという答えを得て。  
 そんな放浪の最中出会った放浪者達に惹かれ、現在は旅をしている。  
 ただ、彼らが幸せな結末に辿り付く事と、自分がぶさわしい罰を受ける事だけを祈りながら。

一人称は「俺」。物事の優先順位がはっきりしており、常に自分より仲間の事を上に置いている。  
 態度には棘がありで常に本心を語らないが、引け目から「自分に関わるべきではない」と思っている為。  
 反面、戦闘の力量には絶対の自信を持っており、戦いだけが自分の価値だと考えている。  
 手先が器用なため、一行の裁縫係も担う。

神殿時代にバルカの片腕を切り落としているため、罪悪感を抱いている。  
 できるだけ歩み寄ろうとしているものの、関係は険悪。

かつて自分を拾った聖職者、フォン・マルヒン男爵に対しては強い憎しみを抱いているものの

